

ざ・ちゅうおう ぷれす

2019年3月号 第94号

発行：世田谷区立中央図書館
世田谷区弦巻3-16-8
TEL 3429-1811
FAX 3429-7436

図書館ホームページ（パソコン） <https://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/>
（携帯） <http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/i/>

「ざ・ちゅうおう ぷれす」は、世田谷区のホームページでもご覧いただけます。



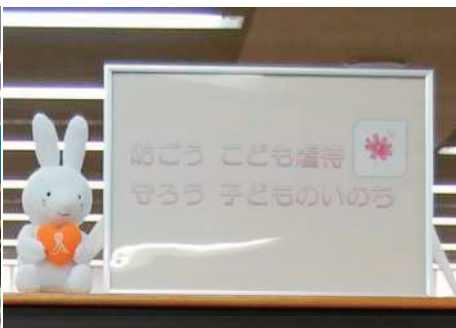
テーマ本展示の助っ人たち

中央図書館では、毎月テーマに沿った図書を集め、展示・貸出を行なっています。今回は、区役所各課とのコラボ展示のお手伝いに来てくれたキャラを紹介します。



世田谷区ユニバーサルデザイン普及啓発キャラクターせたちち
(都市デザイン課)「障害と人権について考える」

あんすこ君 (高齢福祉課ほか)
「高齢者見守りの取り組み」



シールぼうや&シールちゃん
(世田谷保健所)
「感染症に気をつけよう」

めいすいくん
(選挙管理委員会事務局)
「選挙特集」

オレンジリボン運動のウサギちゃん
(子ども家庭課)「防ごう子ども虐待
守ろう子どものいのち」

中央図書館カレンダー

3月							4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6				1	2	3	4							1
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29					
31																				30							

開館時間

火～日 10:00～19:00
月・祝・休日 10:00～17:00

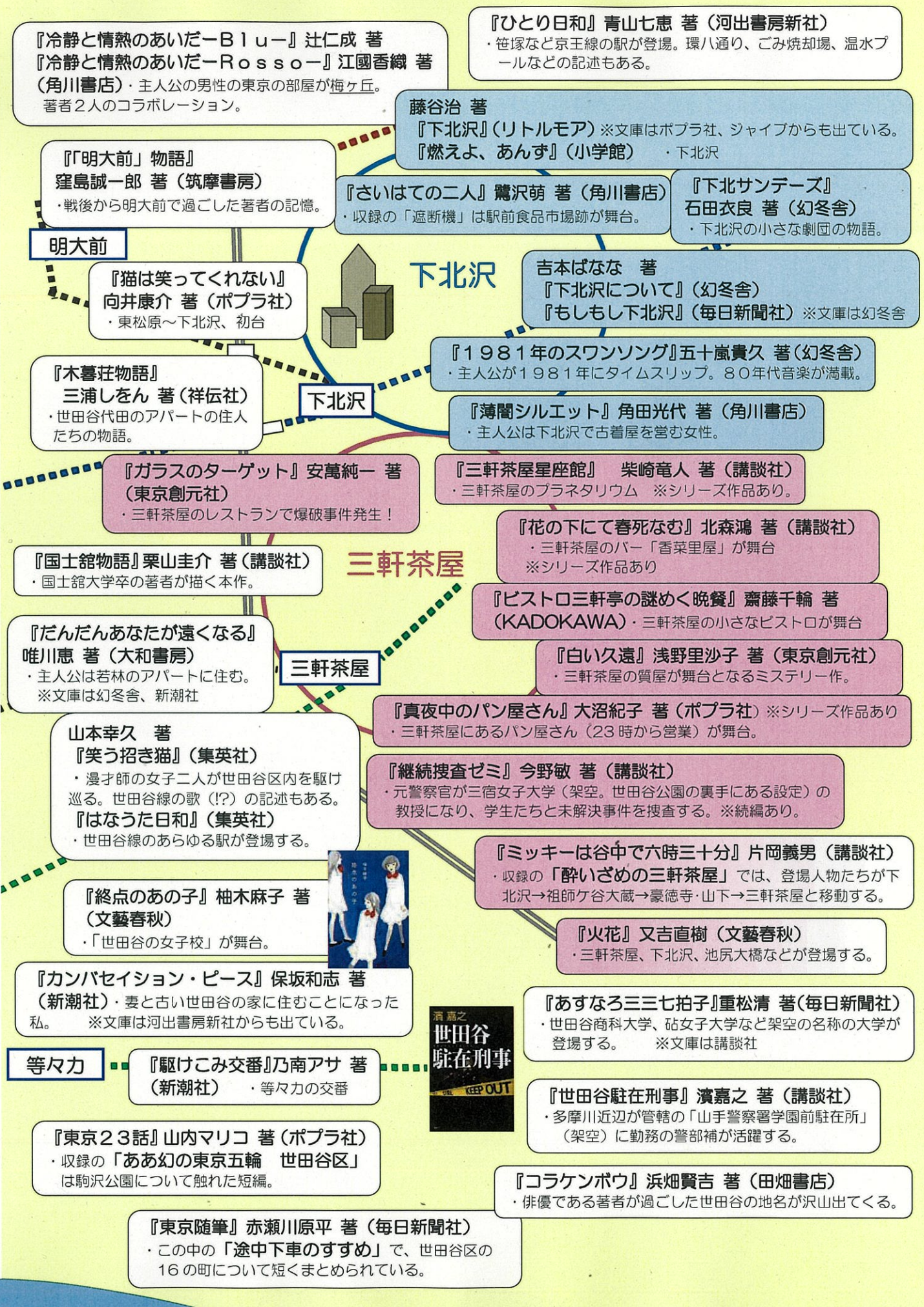
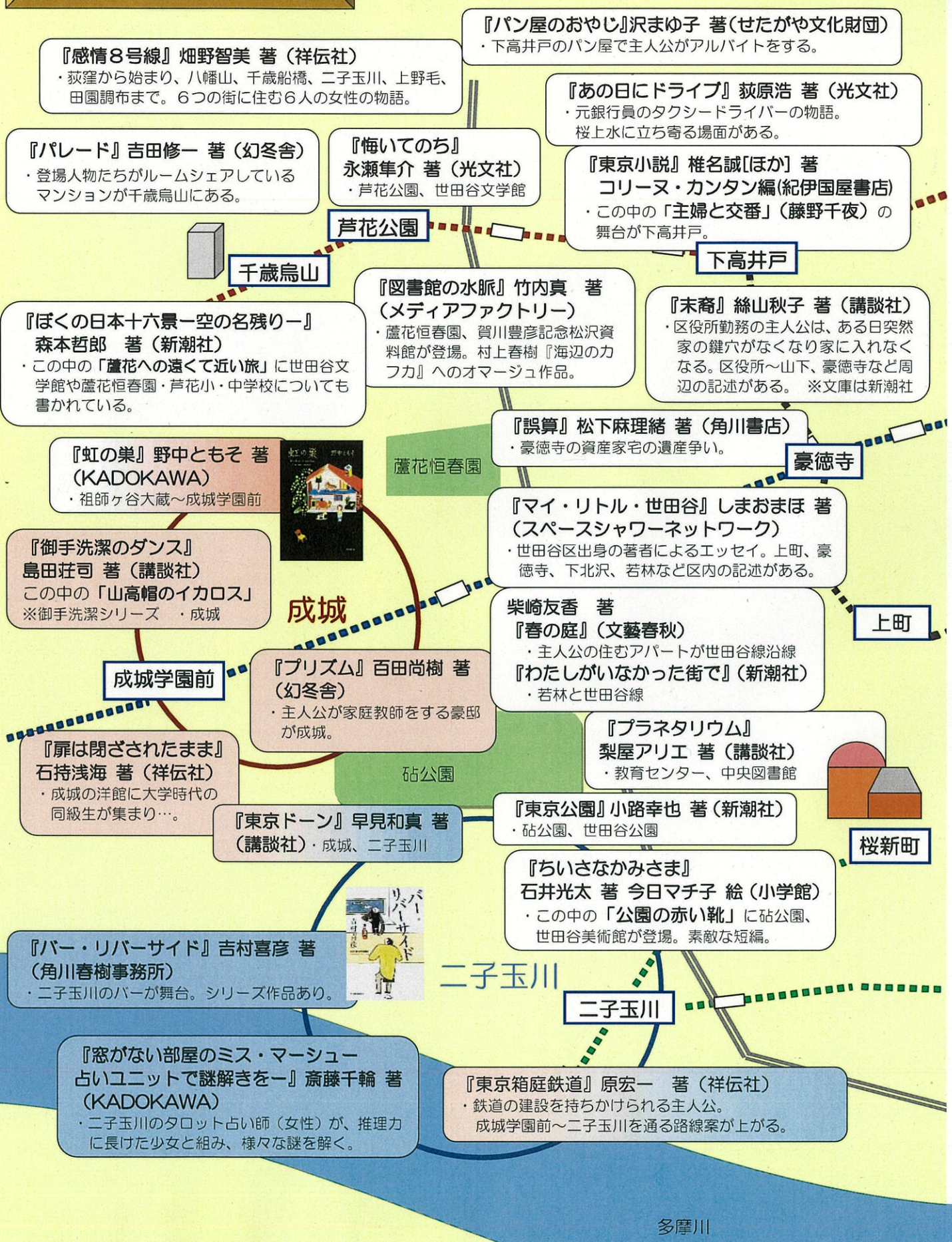


は、中央図書館休館日です。

は、17時に閉館です。

世田谷が出てくる本

世田谷を舞台にした作品は数多くあります。今回は、現代小説及びノンフィクションを中心に、世田谷区（その周辺を含む）が登場する作品を、ほんの一部をご紹介します。



文字・活字文化の日記念講演会「図書館から始まる冒険」を開催しました！

11月18日(日)成城ホール

第1部 子ども読書リーダー（子ども司書）による発表

梅丘図書館で活動する子ども読書リーダーによる「私の出会った本の発表」から始まりました。本の紹介、すばなし、読み聞かせ、朗読が次々に披露され、会場の観客から多くの拍手を浴びていました。続いて、粕谷図書館・中央図書館の子ども読書リーダーが合同で発表を行いました。テーマは、親子三世代に読み継がれてきた絵本作家「加古里子」さんです。おなじみ「からすのパンやさん」のお手製家系図が紹介されたり、絵巻じたての絵本が壇上で広げられたり、盛りだくさんの内容で会場を沸かせていました。



第2部 石田衣良氏による講演「図書館から始まる冒険」



小説家として大活躍の石田衣良さんですが、小学2年生の時に江戸川区立図書館でSFやミステリーの本と出会い、それがきっかけで、将来小説家になると決心したそうです。「図書館の書棚から始まって、その人の一生が丸々変わってしまうことが案外ある」というお話も聞くことができました。

石田さんのユーモアあふれる語り口に会場からは始終なごやかな笑いが起こり、お子さんから大人まで講演を楽しんでいました。特に「次の区議選、区長選では『図書館の書籍購入費を倍にしないと投票しません』と言いましょ！」「ちゃんと本を読んでおくとモテます！相手が何を感じているのかを感じる力がつきますよ」といった語りに、会場は大きな笑いに包まれていました。

知的書評合戦 ビブリオバトル

1月19日(土)

歴戦のバトル7名による、前半4名、後半3名の白熱した発表でした。会場全員の投票により、2冊のチャンプ本を決定しました。



前半：
「希望をはこぶ人」
アンディ・アンドルーズ著
弓場隆訳
(ダイヤモンド社)

後半：
「ヒットラーのむすめ」
ジャッキー・フレンチ作
さくまゆみ訳
(鈴木出版)

観戦された方々からは「自分では手に取らないような本と出会えて楽しい時間だった。」
「いずれ自分でもしてみたい。」との感想をいただきました。次回は是非ご参加を！

学びのプレゼン（学習活動発表会） & 奥野宣之氏講演会 1月27日(日)

学習活動発表会の部では、小倉明氏の『子どもの読書行動について』で子どもによく読まれている本の紹介など各種統計から近年の子どもの読書行動を分析されました。内藤良太氏の『偉人も病魔に苦しめられた』では、エジソン、坂本龍馬などの偉人はこんな病気を患っていた、という意外なお話がありました。

講演会の部では、フリーの作家・ライターの奥野宣之氏から、同名の著書のある『図書館超活用術』についてお話をいただきました。(右写真)

身近にある図書館が小規模でも、図書館の仕組みやサービスを知れば十二分に使えるとし、そのポイントを紹介されました。



おはなしとうたがいっぱい

図書館コンサート



歌手の西山琴恵さんをお招きし、ピアノにあわせて「たきび」や「赤鼻のトナカイ」「大きな古時計」など、どの世代にも馴染みのある童謡を全12曲、素敵な歌声で披露していただきました。最後は「世界中のこどもたちが」を会場の子どもたちと合唱してくださり、歌う子どもたちを見つめる保護者の方の笑顔が印象的なイベントでした。



アンケートからは「子どもが楽しめる心遣いがされていて、家族みんなで楽しめました」「子どもも知っている歌が多く、親子で楽しい時間が過ごせました。歌声がとてもきれいで素敵でした」などのご意見をいただきました。

世田谷区家庭読書の日記念講演会

「藤田浩子 昔ばなしを語る」

パタパタカードを使った自己紹介から始まり、人形などの小道具を使ったお話を次から次に語っていただきました。

藤田氏の味わい深い語りによって、どんどん引き込まれていったところで、こどもが喜ぶ3つのポイント

（①繰り返しがあがる②盛り上がる③ハッピーエンド）が入っているお話「ソーディーサルレイタス」を語っていただきました。ここで会場が一体となり、藤田氏と一緒にセリフを言ったり歌ったりしてお話を楽しみました。会場からリクエストがあったお話を語ってくださったり、手遊びを披露してくださったりと、会場中に笑顔の絶えない素敵な講演会でした。



スタンプラリーを同時開催！

あわせてスタンプラリー企画も行いました。中央図書館やプラネタリウムなどをめぐって4つのスタンプを集めた方に、図書館からは約5cmのミニ本を差し上げました。中が白紙になっているので、自分で絵や物語を書き込めます。皆さん、小さくてもきちんと本になっていることに驚いていました。



～連続6回講座～
学校おはなし会
ボランティア講座（初級）
を開講しました。
2018年10月、11月

今年も集合講義（3回）の講師に伊藤明美先生（元浦安市立図書館司書）をお招きし、



学校という場で読み聞かせをする際の心構えや、絵本・ストーリーテリングについて、多くの事例をご紹介いただきながら学びました。

世田谷区立図書館では、毎年、小学校等でおはなし会ボランティアに携わっている方々のための講座を開

後半3回は、少人数グループに分かれて実習を行いました。

区内で長年活動しているボランティアグループの方々から現場に即したアドバイスをいただき、読み聞かせやストーリーテリングをお互いに演じあいながら学びました。



参加者の声

おはなしは子どもの心の蓄積になっていることが分かった！

学校での活動で一人で悩んでいたことが解決してすっきりした！

平成30年(2018年) 総合ベスト10!

昨年も多くのご利用ありがとうございました。
人気のあった図書・CDのベスト10を、全館の予約数から集計しました。

図書部門

- 1 かがみの孤城 (辻村深月) ポプラ社
- 2 大家さんと僕 (矢部太郎) 新潮社
- 3 おらおらでひとりいぐも (若竹千代子)
河出書房新社
- 4 魔力の胎動 (東野圭吾) KADOKAWA
- 5 未来 (湊かなえ) 双葉社
- 6 沈黙のパレード (東野圭吾) 文藝春秋
- 7 ファーストラヴ (島本理生) 文藝春秋
- 8 コンビニ人間 (村田沙耶香) 文藝春秋
- 9 蜜蜂と遠雷 (恩田陸) 幻冬舎
- 10 屍人荘の殺人 (今村昌弘) 東京創元社

※ 小説・随筆以外では『AI vs 教科書が読めない子どもたち』が14位、『お金2.0』が15位。児童書の『君たちはどう生きるか』は17位でした。

CD部門

- 1 グレイテストヒッツ (クイーン) エンバ-カルミュージック
- 2 LOVE,PEACE&FIRE (Superfly) ワナ-ミュージック
- 3 ゆずイロハ 1997-2017 (ゆず) セ-ニャ&カンパニー
- 4 君の名は。 (RADWIMPS) エンバ-カルミュージック
- 5 ALL TIME BEST (秦基博) エンバ-カルミュージック
- 6 SMAP 25 YEARS (SMAP) ビクター-インターテイメント
- 7 シングルコレクション Vol.2 (UTADA HIKARU)
EMIミュージック・ジャパン
- 8 21世紀ベストセクション「前途」 (中島みゆき)
ヤマミュージックコミュニケーションズ
- 8 日本の恋と、ユーミンと(松任谷由実)
EMIミュージック・ジャパン
- 10 WE ARE X サウンドトラック(XJAPAN)
ソニーミュージックレベール

※ 映画のヒットで、クイーンは20位以内に3作がランクインしています。西城秀樹は11位でした。

レファレンス ~こんな相談がありました~

中央図書館で預かった質問・相談を紹介します



大佛次郎の『天皇の世紀』を借りて読んでいたが、中途半端なところで巻が終わっている。続きの巻の所蔵はありませんか？

⇒『天皇の世紀』は朝日新聞に連載された歴史小説ですが、紙面で病氣休載の発表を行なった5日後に大佛氏は急逝されました。小説は書きかけのまま、残念ですが続きはありません。

満州にあった駅名の漢字を明らかにしたい。複数の文献で表記や読みが違っている。

⇒路線は満州鉄道とのこと。満州は日本の影響下にあったことから、戦前の復刻時刻表を調べたところ発見できました。とはいえ古い印刷で字が特定しづらく、拡大鏡や漢和辞典を駆使しました。正しくは窰門駅で、「窰」は窰業の「窯」と同じ(旧字)で、かまの意。司馬遼太郎氏著作の記述が正しかったそうです。

徳川実紀を読んでいます。「昌平坂学校に成らせられた後、本郷の住居を過ぎせらるる」の意味が通じません。立ち寄ったのか通過したのか…

⇒徳川実紀は日々の幕府や将軍の動静を記した公式記録集です。『古語辞典』で解決しました。現代感覚だと「すぎる」と読んでしまいましたが「よぎる」です。意味は「(通りすがりに)立ち寄る」。「せらる」は丁寧な言葉遣いで、つまり「昌平坂学校に行った後、本郷の住居に立ち寄った」。



新着図書案内



『絵本は心のへその緒』 —赤ちゃんに語りかけるということ— 松居直著（NPOブックスタート）

赤ちゃんと絵本にどういったイメージがあるでしょうか。「早期教育」と結びついて捉えられ、誤解されることもあります。赤ちゃんに絵本を読む目的は読み手と赤ちゃんが絵本を通じて、同じ時間を共有することにあると筆者は述べています。その時間が子どもの心を耕す大切な時間になるのです。



子どもに絵本を読み、自分の声で赤ちゃんが喜ぶことが、読み手の喜びにも繋がります。

忙しくても、少しの時間を見つけて、子どもと絵本を共有することで、「仕事」でも「生活」でもない時間を持つことの豊かさを伝えてくれる1冊です。

【請求記号 0195ま】

『コーヒーと日本人の文化誌』 メリー・ホワイト著（創元社）

今日、コーヒーの文化は私たち日本人の生活に深く根付いています。いったいどのような歴史をたどって日本に浸透したのでしょうか。

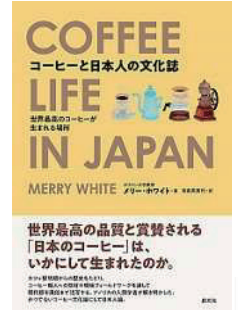
そんな問いに、アメリカの文化人類学者である著者が戦後復興期の初来日以降、度々日本を訪れた研究を基に答えてくれます。

また、歴史だけでなく、コーヒーを提供するカフェや喫茶店の現在の在り方や、格安コーヒーの台頭による問題点など様々な観点から紐解いていきます。

巻末には、本書の取材にあたり著者が訪れたカフェの紹介が掲載されています。

この本を参考にして、数々の個性豊かなカフェに足を運んでみてはいかがでしょうか。

【請求記号 3838ほ】



『世界自然遺産でたどる美しい地球—地形・地質・地層で読み解くビジュアル地球史—』 高木秀雄監修（新星出版社）

朱に染まる中国丹霞、雲海に浮かぶ巨岩、カナイマ国立公園。紺碧の海バリアリーフ、緑深き屋久島、神々しいフォンニャン鍾乳洞。これらの奇景・絶景は何万年、何億年もかけて形成されてきました。



本書は、42の世界自然遺産（一部複合遺産あり）を取り上げ、美しく壮大な風景写真で遺産の魅力を紹介するとともに、その地形が生まれたメカニズムを図版でわかりやすく説明しています。

巻末には、「この本に出てくる地球のできごとと年代表」と「主な岩石の分類」が付いています。

【請求記号 5198せ】

『54字の物語—意味がわかるとソクソクする超短編小説—』 氏田雄介作・佐藤おどり絵（PHP研究所）

小説には百余巻、数万頁に及ぶ長い作品がある一方、ショートショートなど数頁で完結する短編小説もあります。

本作はその究極形。1作品がわずか1ページ、9マス×6マスの54文字で物語が完結します。

この簡潔な文章で話を通じるのか。味わうにはユーモアのセンス（むしろナンセンス）が必要です。そういう意味でこれは小説ではなくクイズ集と言うべきでしょうか。

背景まで読み取れたらニヤリ。意味がわからず困った時には次のページに解説がついています。全90話収録、手軽に楽しめるパズル感覚の新型小説です。（続編もあります。）

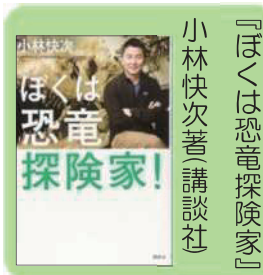


【請求記号 F1 うゆ】

図書館からのお知らせ

「子ども読書の日」記念講演会
小林快次先生の
「最新恐竜研究」

日時：4月13日（土）
午後2時～3時30分



会場：教育センター（中央図書館）3階「ぎんが」
対象：小学生から大人まで、先着120名
申込：3月15日（金）～3月31日（日）の間に
電話またはFAXで「せたがやコール」へ。
電話：5432-3333 FAX：5432-3100
保育・手話通訳：あり※
※区のお知らせ「せたがや」3月15日号をご覧ください。

なぜ？なに？大はっけん！！
かがくのおはなし会

日時：4月27日（土）
午前11時～11時40分



会場：教育センター（中央図書館）3階「おおぐま」
対象：小学生から大人まで、先着50名
（小学生未満は保護者同伴でご参加ください）
申込：不要です。直接会場へお越しください。

「ちしき絵本の読み聞かせ」「科学あそびの実験」
など、ワクワクドキドキするようなおはなしが
盛りだくさんです♪

図書館で楽しく折り紙を

大人の折り紙会

季節に合わせた作品を作ります。
詳しい開催日時や場所については、中央図書館
内で掲示するポスターをご覧ください。

次回の予定（不定期開催です）
4月17日 花菖蒲



おりがみをおろう（子ども向け）

毎月第3木曜日 午後4時15分～5時
おはなしのへや で開催しています。小学生未満の
お子様は、保護者同伴でご参加ください。

3月は さくらの器
4月は かぶと を作る予定です。



図書館で実施するイベント情報入手には、図書館ホームページのご活用を

トップページの **イベント** タブを開くと今後の開催情報が、**お知らせ** タブでは結果報告が
見られます。毎年恒例のイベントもありますので、次回の観覧の参考に。申込不要で当日参加可
能なイベントもあります。ご予約のない日は、図書館で過ごしてみませんか？

編集後記

特別区(23区)の図書館職員は専門職採用ではありません。私事で申し上げますと、土木・
企画・出張所・介護保険・納税の部署を経て図書館におります。様々な人や業者を相手に職
務にあたってきた私が「図書館はいいな」と思うのは、子ども達が来るところです。

「おじさーん！」と満面の笑みで本を持ってくる子は可愛らしく、場が明るくなります。
とてもきれいな声で絵本を朗読する子がいます。緊張でずっと無言の子は、最後のバイバイ
で笑顔になって帰ります。こちらの話を全て理解して対等に話せる子に驚かされます。礼儀
正しい子には感心します。

まさに「子は国の宝」。どの子もここに来たら楽しく過ごせて、読書を通じて大きく育つ
よう、図書館として力を尽くしていきたいと思えます。